

真琴に訪れた
文学や小説が
困難に立ち向かうための
手掛かりや新たな問いが
織り込まれているに
違いありません。

第四回

京都文学賞

作品募集・読者選考委員募集

Kyoto Literature Award

第四回となる今回は、募集から選考表彰まで二箇年の運営スケジュールに変更すること、より丁寧な選考を実現し、京都文学賞の価値を更に向上させるための「京都文学賞」の創設を検討しています。
「明日も生きよう」と思わせるような確かな未来を生み出す作品を心からお待ちしています。

「コロナ禍など、
『不確実な時代』と語られています。
『不確実な時代』の『世界文化自由都市宣言』
を再読されました。
『宣言』の「自由」とは、
自由が、人種・宗教・社会体制の相違を超えて、
ここに自由にして、自由な文化交流を『都市』
に、まさに今、こうした理想の追求が、
求められているのではないでしょうか。

令和三年度第3回京都文学賞では、
国内外から部門合わせて二七〇作品もの御応募を頂き、
一般部門で備忘書（冊数化調整中）、
中高生部門で欄に浮かぶ浄土二祥伝社から、河行予定が
最優秀賞に輝きました。

募集作品

- 京都を題材とする「小説」とし、純文学、時代小説、ミステリー等ジャンルは問いません。
- 日本語で書かれた自作の作品で、未発表のものに限ります。
(ただし、インターネット上で掲載された作品や、同人雑誌、自費出版物等で発表された作品については、営利を目的としていないもの限り、未発表とみなし応募を受け付けます。
その場合、必ず掲載又は発表した媒体名を明記してください。)
- 他の文学賞との二重投稿及び過去に入選した作品の応募は禁止します。
- 第三者の著作権、その他の権利・利益を侵害したり、そのおそれがない作品に限ります。
- 引用文献や参考文献がある場合、その出典等を必ず明記してください。

応募区分・資格

- 「一般部門」「中高生部門」「海外部門」の3部門を設け、プロ・アマを問わず、国内外から作品を募集します。
- 「一般部門」については、年齢・国籍を問わず、高校生以下の方や外国籍の方も含めどなたでも応募することができます。
- 「中高生部門」については、2004年4月2日以降に生まれた方を対象とします。
- 「海外部門」については、留学生をはじめ外国籍を有する方を対象とします。

応募規定

作品分量

*ルビ、注釈、参考文献は文字数に含みません。

一般部門	手書き原稿不可	28,000字以上 160,000字以内
中高生部門	手書き原稿も可	手書き原稿の場合 400字詰(20字×20行)原稿用紙で、 20枚以上150枚以内
		パソコン原稿の場合 400字詰(20字×20行)原稿用紙に換算し、 20枚以上150枚以内 *提出原稿は以下の書式(30字×40行)を使用のこと
海外部門	手書き原稿不可	8,000字以上60,000字以内

原稿の書式

パソコン原稿

A4判、横長、マス目なし/30字×40行/縦書き

*京都文学賞ホームページからダウンロード可

手書き原稿 (中高生部門のみ)

A4判、横長/400字詰(20字×20行)原稿用紙/縦書き

*消せるボールペンや鉛筆での記入は不可。濃くはっきりと読める字で丁寧に記してください。

*誤字脱字、表記ミスなどの確認のため、作品を読み返してから御応募ください。

- 作品本文ページの左下に通し番号(ページ番号)を入れ、郵送の場合は右肩をクリップで綴じてください
(ホッチキス留めは不可)。
- 中高生部門・海外部門で御応募いただいた作品が、一般部門の作品分量を満たしており、かつ最終選考まで残った場合、最終選考委員の意見により、一般部門において選考を行うことがあります。

応募方法

- 応募方法はWEBの応募フォーム(京都文学賞ホームページに設置)又は郵送のいずれかとします。

WEBで応募する場合

応募フォームに必要事項を入力の上、作品及び右記の表紙1枚目(あらすじ等)を添付し提出してください。

作品のファイル形式はWord又はPDFで添付してください。

郵送で応募する場合

作品原稿の上に、右記の表紙1枚目ー3枚目を添えてお送りください。

気候変動、武力紛争、コロナ禍など、現代は一歩先が見通せない「不確実な時代」と言われています。京都文学賞は、平成三十年の「世界文化自由都市宣言」四十周年を契機に創設されました。宣言では、京都(「世界文化自由都市」を「全世界のひとつ」として)が、人種、宗教、社会体制の相違を超えて、平和のうちに、ここに自由にとどき、自由な文化交流を行う都市」と謳っており、まさに今、こうした理想の追求が求められるのではないのでしょうか。

真摯に紡がれた文学や小説には、困難に立ち向かうための手掛かりや新たな問いが織り込まれているに違いありません。令和三年度の第三回京都文学賞では、国内外から三部門合わせて二七〇作品もの御応募を頂き、一般部門で『備忘六』(出版化調整中)、中高生部門で『闇に浮かぶ浄土』(祥伝社から刊行予定)が最優秀賞に輝きました。第四回となる今回は、募集から選考・表彰まで二箇年の運営スケジュールに変更することで、より丁寧な選考を実現し、京都文学賞の価値を更に向上させるため、新たな賞の創設を検討しています。これまでの受賞作に続き、読む人に「こういう世界／京都もある」と自由で多様なあり方を示し、「明日も生きよう」と思わせるような、確かな未来を生み出す作品を心からお待ちしています。

- 表紙1枚目-3枚目(京都文学賞ホームページからダウンロード)に記載する必要事項

*あらすじや文字数の記載漏れがないよう御注意ください。

表紙1枚目

- 応募区分
 - * 中高生部門は生年月日、海外部門は国籍も記載
- タイトル
- あらすじ(800字以内)

表紙2枚目

- ペンネーム(ふりがな) *ペンネームがない方は、本名
- 作品のジャンル(純文学、ミステリー、ホラー、SF、ファンタジー、歴史、時代、青春、恋愛、その他)
 - * 御自身の作品に一番近いものを1つ選択してください。
 - できる限り「その他」以外の選択肢からお選びください。
- 作品の総文字数(中高生部門は、400字詰(20字×20行)原稿用紙換算枚数)
- 略歴(学歴、職歴、筆歴など)
- 生年月日(西暦で記載)[一般・海外部門の方は任意]
- (応募作品の掲載歴等がある方のみ)掲載したURL又は発表した同人雑誌、自費出版物等の名称

表紙3枚目

- 本名(ふりがな)
- 住所
- 電話番号
- Eメールアドレス
- 性別[任意]
- 職業[任意]
- 京都文学賞に関するアンケート[任意]

応募締切

- 令和5年5月12日[金]20時まで

郵送の場合は、5月12日[金]消印有効 | WEBの応募フォームの場合は、上記日時まで

最終選考委員

いしいしんじ(作家)、井上荒野(作家)、校條剛(作家・評論家)、読者選考委員の代表ほか

賞の内容

一般部門	最優秀賞1点：賞金100万円、出版化	優秀賞1点：賞金50万円
中高生部門	最優秀賞1点：図書カード10万円分	優秀賞1点：図書カード5万円分
海外部門	最優秀賞1点：賞金10万円	

上記の賞のほか、新たな賞を検討しています。詳細が決まり次第、発表させていただきます。

発表

一次選考	令和5年7月下旬頃に、選考結果を京都文学賞ホームページ上にて発表します。
二次選考	令和5年9月下旬頃に、選考結果及び簡易な選評を京都文学賞ホームページ上にて発表します。
最終選考	令和5年12月-令和6年1月頃に、受賞者へ直接通知するほか、選考結果及び選評を京都文学賞ホームページ等で発表します。

表彰式

令和6年1月(予定) 京都市内の会場にて、受賞者のほか、選考委員等を招いて実施します。

応募作品の著作権等

- 応募作品の著作権は応募者に帰属するものとします。
- 受賞作品については、そのあらすじや作品の一部を主催者のホームページや新聞、その他の発行物において掲載することがあります。
- 受賞作品の出版に当たっては、著作権を持つ応募者が出版を希望する協力出版社からの提案を基に、実行委員会と協議のうえ、出版社を決定するものとします。
- 選考及び記録に必要な範囲で主催者において応募作品を複製することがあります。

注意事項

- 応募は一人一編とします。
- 応募後の作品の訂正、返却依頼は受け付けません。必要があれば予めコピーしておいてください。
- 作品の選考に関するお問合せには応じられません。
- 応募により得た個人情報については、本文学賞に関するもの以外には使用しません。

最終選考委員から

作家

いしいしんじ



京都とは、町の名でも地名でもなく、それ自体がいまも進行しつつある物語なのだと思えます。京都を舞台に、とか、京都をテーマに、とか、情緒とか歴史とか京雅とか、まったく気にしないでOKです。生き生きと脈動する、あなただけの大切な物語をお待ちしています。

京都大学文学部仏文学科卒。1994年「アムステルダム」でデビュー。「麦ふみクーツェ」(坪田謙治文学賞)、「ある一日」(織田作之助賞)、「悪声」(河合隼雄物語賞)など著作多数。21年『源氏物語』の「京ことば」訳「げんじものがたり」、22年『書こうとしない「かく」教室』刊行。

作家

井上荒野



©三原久明

「京都! 京都!」と意気込んで書いていたのですが、その前に「小説! 小説!」です。それから「京都! 京都!」です。この順番が正しいのではないかと個人的には思っています。同じ小説を書く者として嫉妬させられるような作品をお待ちしています。

成蹊大学文学部卒。1989年「わたしのヌレフ」(フェミナ賞)でデビュー。「切羽へ」(直木賞)、「そこへ行くな」(中央公論文芸賞)、「赤へ」(柴田錬三郎賞)、「その話は今日はやめておきましょう」(織田作之助賞)など著作多数。22年「生皮——あるセクシャルハラスメントの光景」刊行、著書「あちらにいる鬼」は同年映画公開予定。

作家
評論家

校條剛



京都というと、懐石や割烹などの和食がまず頭に浮かぶかも知れません。しかし、京都は実はパンの消費量が全国でも有数のパン食文化の土地です。『京都中華』という独特の料理ジャンルもあります。食べ物一つにも、このように多様化している京都からあなたが見出しにくれるのか、それが一番の期待です。

早稲田大学第一文学部卒。「小説新潮」編集長時代に、様々な文学賞を創設。元京都造形芸術大学文芸表現学科教授。著書に「ぬけられますか私漫画家 滝田ゆう」(大衆文学研究賞)、「ザ・流行作家」、『作家という病』、「にわか(京都人)宣言」など。

役割

- 京都文学賞の各部門(一般/中高生/海外)における一次選考通過作品について、審査基準に沿って選考し、感想を記述していただきます(=二次選考)。*一次選考は、書評家など専門家により実施します。
- 二次選考終了後、最終選考に参画いただく読者選考委員(数名)を、主催者において選定します。

選考時期及び選考作品数

二次選考	令和5年7月中旬-9月中旬頃	1人10-15作程度(全読者選考委員が担当) *担当する作品数は、応募状況により変動する可能性があります。
最終選考	候補作品送付: 令和5年9月中旬 選考会: 令和5年12月頃	各部門から数作(読者選考委員 数名)

募集人員(予定)

- 20名程度
*京都在住に限らず、広く全国から募集します。*本文学賞に作品を応募される方は、読者選考委員には応募できません。

謝礼

- 選考作品40,000字までにつき500円分の図書カード(1作品上限2,000円)
*最終選考会に出席いただく場合は、別途謝礼をお支払いします。

特典

- 令和6年1月(予定)に京都市内で開催する表彰式へ御招待(原則オンラインでの御招待とします。)
- 受賞作の刊行本プレゼント(予定)

応募方法

- WEBの応募フォーム(京都文学賞ホームページに設置)又は郵送のいずれかとなります。

WEBで応募する場合 応募フォームに必要事項を入力してください。

郵送で応募する場合

- 以下の事項を記載し、郵送で応募先へ提出してください。
*様式は、京都文学賞ホームページからダウンロード可
- 選考を希望する部門(一般/中高生/海外)*複数選択可。希望する順番(1, 2, 3)を御記入ください。
 - 京都との関わり
 - 読書歴(1箇月に何冊程度本を読むか)
 - 好きな小説のジャンル(純文学、ミステリー、ホラー、SF、ファンタジー、歴史、時代、青春、恋愛、その他*複数選択をお願いします。)及び好きな作品ベスト5(作品名・作者名)
 - 次の作品の中から1作品を読んだ感想(400字程度)
『鴨川ランナー』グレゴリー・ケズナジャット著(講談社)
『夜は短し歩けよ乙女』森見登美彦著(角川文庫)
『京都府警あやかし課の事件簿』天花寺さやか著(PHP文芸文庫)
*第3回京都文学賞受賞作については、刊行に向けて協力出版社と調整中。
募集期間中に刊行された場合、課題図書としていただくことも可能です。
 - 応募理由を含む自己アピール(200-400字程度)
 - 住所・名前(ふりがな)・年齢・職業・電話番号・Eメールアドレス
 - 京都文学賞に関するアンケート[任意]

応募締切

- 令和5年1月31日[火]20時まで
郵送の場合は、1月31日[火]消印有効 | WEBの応募フォーム場合は、上記日時まで

結果通知

- 令和5年3月頃までに本人に通知します。*令和5年5月以降に、作品の選考に関する説明会を開催しますので御出席ください。
- 応募者の選考は、京都文学賞実行委員会が行います。

備考

京都文学賞ホームページ

<https://kyotobungakusyo.com/>



郵送先

〒604-8567(住所不要)

京都新聞COM内

京都文学賞実行委員会事務局

「作品募集」係又は

「読者選考委員」係

主催

京都文学賞実行委員会

(京都市、京都新聞、

一般社団法人京都出版文化協会等)

協力

京都府書店商業組合、
文化庁地域文化創生本部、
朝日新聞出版、KADOKAWA、
河出書房新社、幻冬舎、講談社、光文社、
集英社、小学館、祥伝社、新潮社、
淡交社、ちいさいミナモト社、早川書房、
PHP研究所、双葉社、文藝春秋、
ポプラ社、毎日新聞出版

後援

京都市教育委員会、
大学コンソーシアム京都

アートワーク

宮永愛子《life》2018

アートワーク写真

宮島径

ビジュアルデザイン

綱島卓也

ロゴデザイン

高山燦

制作協力

一般社団法人HAPS

芸術家×仕事コーディネーター事業、

MIZUMA ART GALLERY

問合せ先

京都文学賞実行委員会事務局

(京都新聞COM事業推進局内)

tel | 075-241-6172

(平日午前10時-午後5時)

fax | 075-222-2200

メール | keikaku@mb.kyoto-np.co.jp

本事業は、京都市の宿泊税による
税収を活用して実施します。



京都市
CITY OF KYOTO



令和4年6月発行